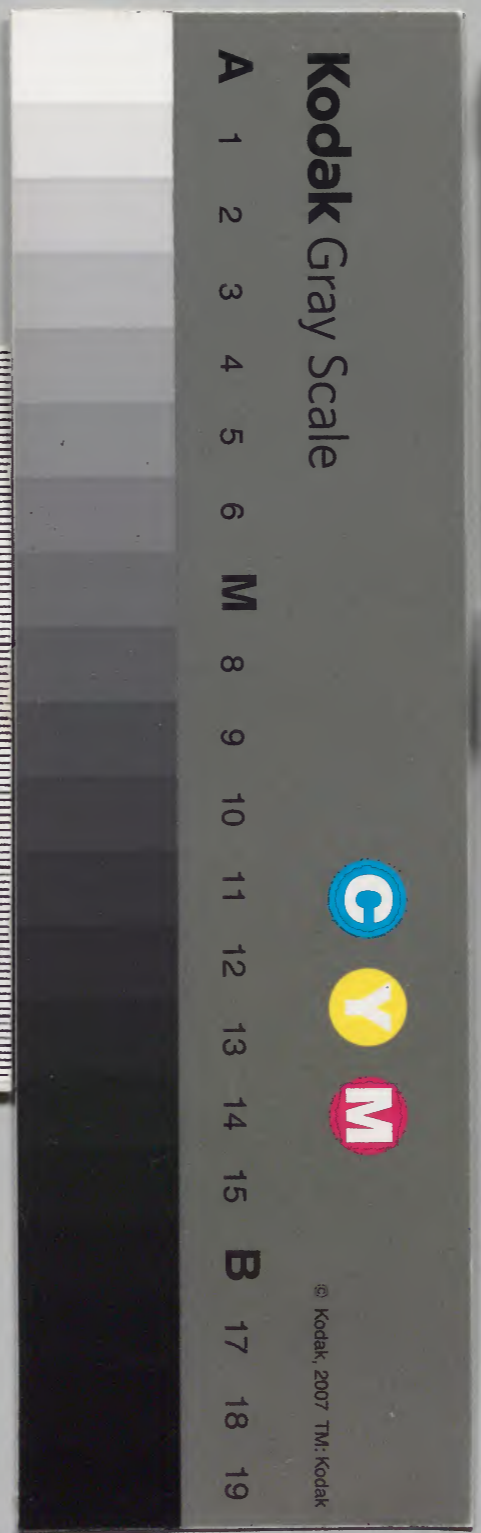


内閣文庫	
番號	和 25179
冊數	13 (7)
函號	210 64



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



命無漢乃古物

下卷

茶ノ肩衝



△和漢名物茶入ノ記下

茶子 本曲 乃作小形茶放小云々

小ニ云々口小瓶云々

色遠の玉粒云々

子小云々乃先記茶

子云々乃先記茶

乃云々乃先記茶

乃云々乃先記茶

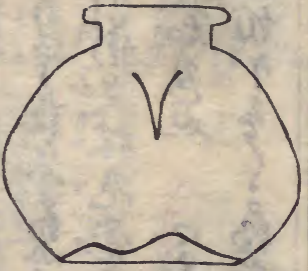
乃云々乃先記茶

乃云々乃先記茶

茶ノ肩衝

唐物

茄子

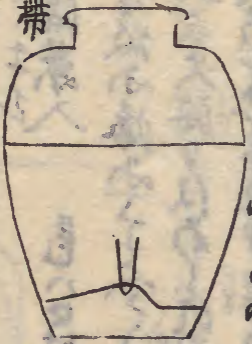


長式寸二分九リ
胴四寸八分半
口指渡九分
底一寸

△地系黄脣系アタクネリの流ウチれウチのウチのウチの
物系あり △腰ウチのウチのウチのウチの
系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△地ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
一尻ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの

一寸一分一乃物あり

唐物



長 二寸五分
口 一寸四分
底 八分半

△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの
△系ウチのウチのウチのウチの

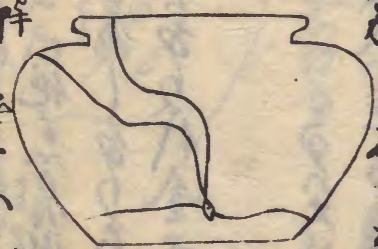
あり又唐物乃流れ一筋細
 △小瓶小云小瓶乃ちのさたと云
 糸切あり代金をきぬめりす

大正
 大海系入 是ハ只海と云
 志取小海ふと云ふとあり

又云大海はわく内海と云
 大乃まど書り得りし小と
 世小内海と云りは流れ小と
 世小内海と云は流れ小と
 世小善く大海内海と云は
 大の小さな相おれは入海なり
 ひり大海の流子乃系入或は
 大海系入小の流子乃系入
 大海系入流子乃系入

肩彫へ巨系入勢々と流れ
 大海系入流子乃系入
 小瓶小云小瓶乃ちのさたと云
 乃書院乃流子乃系入
 宗易他流子乃系入
 用いし流子乃系入
 ありそく引流子乃系入
 られとあり△は大海
 △は流子乃系入
 △は流子乃系入

唐物
 大海



長一丈八分半
 廻八寸六分
 口一寸九分半
 底一寸六分

△下系流子乃系入上系流子乃系入

又英館美れおごれあり
 △手控小云此他志肩衝と自作之
 手控引あしかり云の腰美
 △口小瓶を茶壺と云ふ
 △口大瓶を茶壺と云ふ

内海茶入

ふの大海よはす

△口小瓶を茶壺と云ふ

△口大瓶を茶壺と云ふ

唐物

内海



長一寸八分
 廻七寸五分
 口一寸六分
 底一寸三分

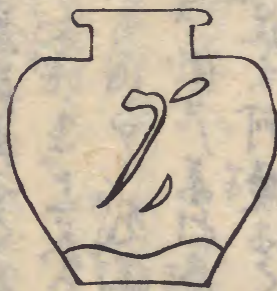
△口小瓶を茶壺と云ふ
 △口大瓶を茶壺と云ふ
 △口小瓶を茶壺と云ふ

茶壺

水壺と云ふ

△口小瓶を茶壺と云ふ
 △口大瓶を茶壺と云ふ
 △口小瓶を茶壺と云ふ
 △口大瓶を茶壺と云ふ
 △口小瓶を茶壺と云ふ
 △口大瓶を茶壺と云ふ
 △口小瓶を茶壺と云ふ
 △口大瓶を茶壺と云ふ
 △口小瓶を茶壺と云ふ
 △口大瓶を茶壺と云ふ

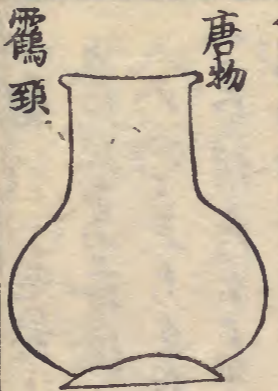
圓壺



茶壺

四

△下葉花...
 △或は云何焼中くも...
 △或は云何焼中くも...
 △或は云何焼中くも...



唐物
 長 二寸八分
 廻 六寸五分
 口指 一寸二分
 底 一寸二分

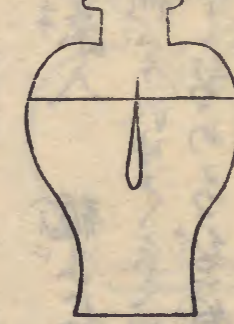
△糸切花...
 △地葉...
 △糸切...
 △或は云何焼中くも...
 △或は云何焼中くも...
 △或は云何焼中くも...
 △或は云何焼中くも...

和漢書

△大口之瓶 四寸と云く△口は
様一ぬ△糸切花云々

唐物

瓶子



長 二寸六分
廻 四寸九分半
口指 八分半
底 九分半

△地系唐器之腰中葉之
雜之△流れ流るる

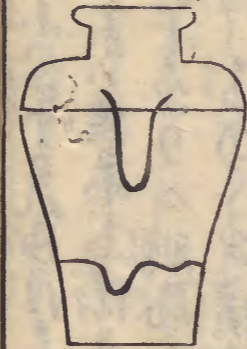
樽茶入

樽も酒器之類也

△口は口指之類也△糸切糸の在り

唐物

樽



長 二寸八分
廻 六寸八分
口指 一寸
底 一寸一分

△地系茶器之類也△糸切糸の在り
上流れ流るる△流れ流るる
△糸切糸の在り

茶入

口指之類也

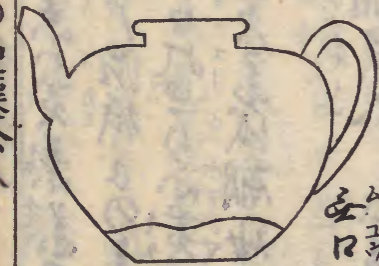
△口は口指之類也△糸切糸の在り
△糸切糸の在り

△口は口指之類也△糸切糸の在り

△口は口指之類也△糸切糸の在り

唐物

水滴

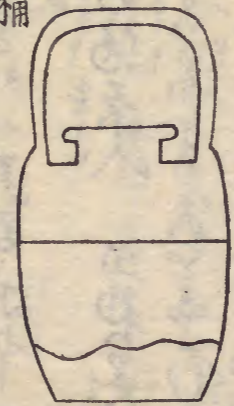


長 二寸一分半
廻 七寸二分
口指 一寸一分半
底 一寸三分

△地茶の葉茶葉乃難得なり
 漸戸紙紙の葉をよみ同く
 △口は口回りの葉茶葉なり
 △葉茶葉茶葉と云なり

湯桶茶入
 △名付茶入
 △口は口回りの葉茶葉なり

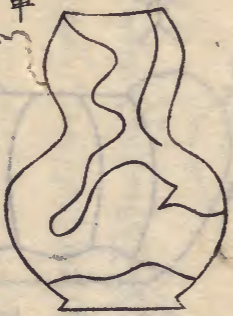
△口は口回りの葉茶葉なり
 △口は口回りの葉茶葉なり
 △口は口回りの葉茶葉なり



長 二寸茶
 廻 六寸余半
 口 一寸四分
 底 一寸分

△下葉茶葉茶葉乃難得なり
 上葉茶葉茶葉茶葉乃難得なり

物 唐
 △口は口回りの葉茶葉なり
 △口は口回りの葉茶葉なり



長 二寸二分半
 廻 六寸余
 口 八分
 底 一寸二

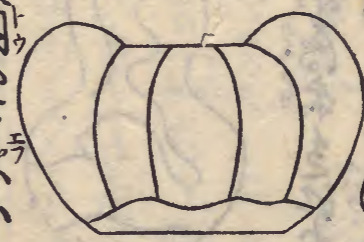
△地茶の葉茶葉乃難得なり
 △口は口回りの葉茶葉なり
 △口は口回りの葉茶葉なり
 △口は口回りの葉茶葉なり

美茶又小物なりとあり

瓜茶入 瓜乃て小形とあり

△瓜茶入なり △口生りせは

△大層茶多孔與底也



長 一寸八分
廻 八寸九分
口指 八分半
底 一寸四分

△茶入 瓜小七茶入茶と切あり

△地茶 瓜茶入 △上茶ハ中茶

美茶又上小茶美あり

△瓜茶入 瓜乃小形とあり

唐物



長 一寸七分半
廻 六寸七分余
口指 九分
底 一寸五分

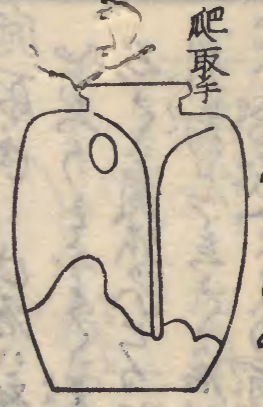
△地茶 瓜茶入乃小茶地あり

△上茶ハ茶とありあり

肥取茶 瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり
瓜乃小形とあり

花をさすう △ 庭のうら
かりぬる目あり

爬取手



△ 下系流樽乃を器流くよた美
立あり △ 上系の系一画あり
くかりをよ上小流あり
か所あり

早乙女年 け子細系のみ
曲らて腰帯二筋切あり

これと子苗とる女乃二系帯
の腰をふかるとくを列
子乙女と名付あり

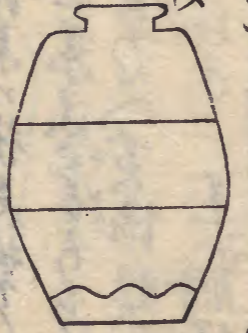
△ 大系あくる小砂乃を系

又乃格あくる常系あり

口より格あくる一画あり

これと子苗とる女乃二系帯
の腰をふかるとくを列
子乙女と名付あり

早乙女



△ 腰帯二筋あり

△ 上系の系一画あり

か所あり

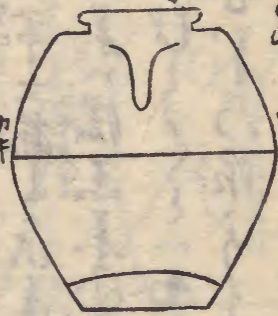
羽塚年 け子細系のみ

その格あくる一画あり

和漢茶名考
五十七

△大茶のこしは茶の粉あり
△口茶のこしは茶の粉あり
△糸切茶のこしは茶の粉あり

胴塚



△地茶の柄は茶の粉あり

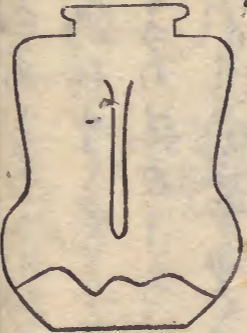
△上茶の柄は茶の粉あり

△又黄流れは茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

胴



△出茶の柄は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

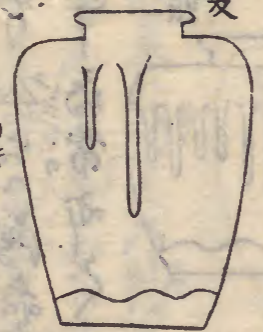
△茶の粉は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

下髪



△地茶の柄は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

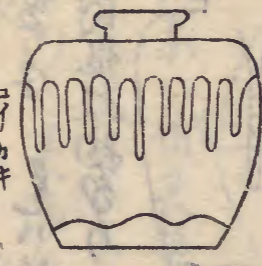
△茶の粉は茶の粉あり

△茶の粉は茶の粉あり

和漢茶名考
五十八

赤熊
 赤熊
 赤熊

△赤熊シヤククニ 是亦同他あり扱れ
 此の赤熊の扱方り種格合細之も
 宜しく赤熊も各別あり之を
 知り△出ハ赤熊之 口是り扱
 方り種格合細之も 赤切あり

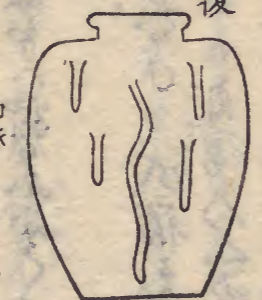


赤熊

△赤熊の扱方り之上赤熊の扱方
 乃海り赤熊の扱方り之上赤熊の扱方
 赤熊の扱方り之上赤熊の扱方
 赤熊の扱方り之上赤熊の扱方

△赤熊の扱方り之上赤熊の扱方
 赤熊の扱方り之上赤熊の扱方

△赤熊の扱方り之上赤熊の扱方
 赤熊の扱方り之上赤熊の扱方



赤熊

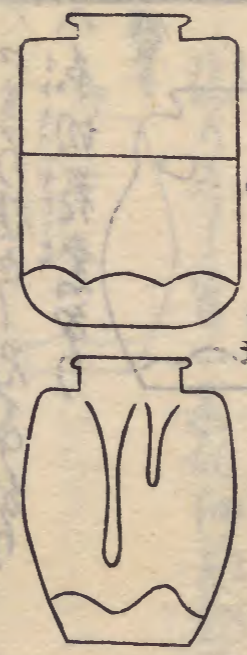
△赤熊の扱方り之上赤熊の扱方
 赤熊の扱方り之上赤熊の扱方

赤熊
 赤熊

和漢茶入

茶入

市町中く求め申しり意別
 物別は茶入乃流小用ひま
 △大落白文乃細く又
 乃く △口造り橋乃花
 意あり或は拾合より白廣
 茶入乃常あり △糸切一際
 乃あり 市場



△下系乃茶入又流揚之
 もろ乃流茶入乃流乃地
 △上系乃流茶入乃流乃
 乃物あり流乃流乃乃流
 乃流乃あり又流茶入の

油りてありす流乃流
 細く乃流乃流乃流拾合
 小乃あり又流乃流乃
 又流乃流乃流乃

△又流小乃流乃流乃流
 乃流乃流乃流乃流乃流
 乃流乃流乃流乃流乃流
 乃流乃流乃流乃流乃流

△或は拾合より口廣茶入
 常之△地系乃流乃流乃流

茶入 乃流乃流乃流乃流
 乃流乃流乃流乃流乃流
 乃流乃流乃流乃流乃流
 乃流乃流乃流乃流乃流

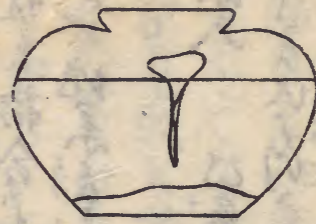
和漢茶入

茶入

△去交 △口芒り括越しお
△糸切不ろく花杵之

唐物

掛茶入



長 一寸二分七リ
廻 六寸八分余
口 一寸一分
底 一寸一分

△下系 ウススミ 湯蛋之より美飯や
△上流 ナガ 凡の之類より美飯や

九十二
被練茶入 アノカワ 以振えのてり

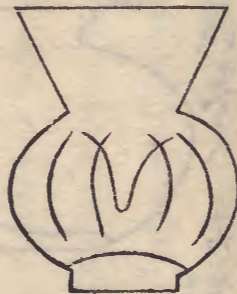
乃由茶持秘舞第一乃り
輪糖乃魚口廣く物之を

おろし入付多し物なり
後小酒井氏む人

△古為未交し △糸切細く

唐物

安康



長 二寸
廻 五寸六分半
口 一寸七分半
底 五寸八分

△胴小六系小系あり

△下系 ウススミ 湯蛋之より美飯や

△上系 ウススミ 湯蛋之より美飯や

△糸切細く

飯茶入 ハシトウ 飯茶入

△糸切細く

△去交 ウススミ 湯蛋之より美飯や

△上系 ウススミ 湯蛋之より美飯や

新撰

七

△大儀黄之 △口はッラ 佳き好

△糸切なるく凡して

△地兼赤目兼也 △上兼の兼

り凡て乃所流れ乃やふ

凡て乃り

連摩兼入 手イレ本五

珠紋乃粒ふをそとく體似

△大儀赤之也 △口はッラ 佳き好

△糸切なるく凡して

△上兼の兼等之 黄兼の 兼と

△下兼柳文粒乃

唐物 長 一寸八分九リ

連摩 廻 七寸八分

口 九分半



底 九分

△上兼の兼等之 黄兼の 兼と

△大儀黄之 △口はッラ 佳き好

△糸切なるく凡して

△地兼赤目兼也 △上兼の兼

り凡て乃所流れ乃やふ

凡て乃り

連摩兼入 手イレ本五

珠紋乃粒ふをそとく體似

△大儀赤之也 △口はッラ 佳き好

△糸切なるく凡して

△上兼の兼等之 黄兼の 兼と

△下兼柳文粒乃

唐物 長 二寸四分

大鼓 厚 一寸

口 八分四方

但 四角

底 九分四方

但 揚底

△下兼黄之也 △上兼の兼

り凡て乃所流れ乃やふ

凡て乃り



九十七 十王頭兼入

十王頭口と云々

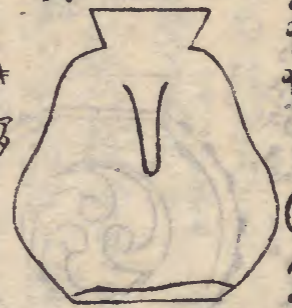
新撰

七

和漢茶

口はわりと強中燻磨玉乃冠
乃新玉推へ十五顆台と名付也
△大の口也 △口は握りあり
△糸切かきとるあり

唐物



長 二寸一分
廻 六寸五分
口 九分半
底 一寸

△地葉貴徳文上葉の興流也
中厚く見ゆあり又ふとあり
ちくくとあり

九六

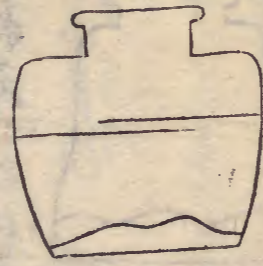
半切茶入

此名は痛み半

切と云物ありととく長低小
△朱古乃雲底也 △騰常入蓋

てろ

唐物



長 二寸五分
廻 六寸八分
口 一寸三分
底 一寸七分半

△下葉房折之 △上葉の葉
貴徳茶むくあり

又日



長ハ浅戸
半切あり
中右浅戸
何処也

九六
車油茶入

此名は車乃油小

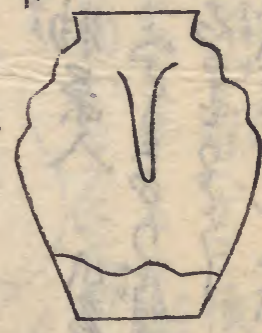
△云浅葉茶也 △此は倍小信也

和漢茶

下 六十三

と云かり △系切常の母り也

唐物



長 二寸五分
廻 六寸一分半
口 八分半
請 口一ミ
底 九分半

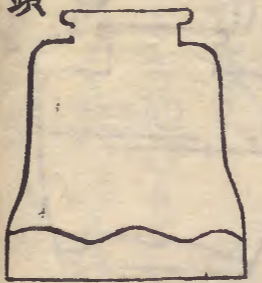
車軸

△地系^{ウススミ}唐^{ウススミ}系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}
あり^{ウススミ}唐^{ウススミ}系^{ウススミ}△乃^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}

神頭

△系切^{ウススミ}り^{ウススミ} △下系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}
系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}ハ^{ウススミ}系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}

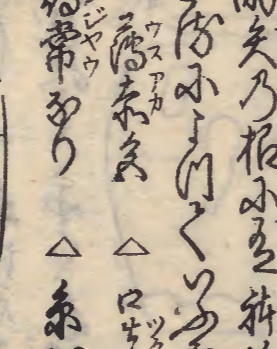
唐物



長 二寸一分半
廻 五寸六分
口 九分
底 一寸七分半

△系切^{ウススミ}り^{ウススミ} △下系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}
系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}ハ^{ウススミ}系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}

唐物



長 二寸五分
廻 四寸八分余
口 九分九リ
底 八分

唐物

△地系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}
あり^{ウススミ}唐^{ウススミ}系^{ウススミ}△乃^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}
系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}△上系^{ウススミ}流^{ウススミ}系^{ウススミ}

口 九分九リ

底 八分

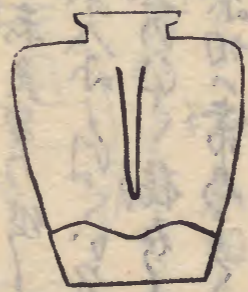
△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ
 小コ茶チヤ入イの厚アツふツは細サの板イタ

百四

△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ

△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ

杜若



△去ウス濁ア茶カ入カの厚アツふツは細サの板イタ
 △下シタ茶チヤ入イの厚アツふツは細サの板イタ
 △上ウヘ茶チヤ入イの厚アツふツは細サの板イタ

△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ

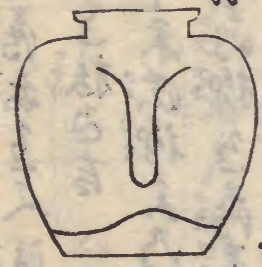
百五

△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ

△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ

△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ

音羽



△茶入テアツの厚アツふツは細サの板イタ

利清類

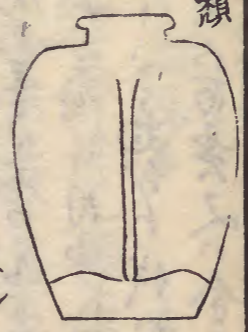
百六

此等は入りか統とあるは
 △大筋赤く又淡黄くともあり
 △口は二枚五枚 △糸切は常々
 △下糸淡粉文乃階くく多る糸造
 又清物も為墨を糸わり
 △上糸は糸糸小黄粉く糸糸り
 糸の物又糸糸に黄流の糸
 糸入も糸黄粉あり糸あり

百六
 一筋類は大方一流れあるは
 糸の二筋類と世ふ糸糸
 又糸糸糸糸糸糸糸糸糸糸
 糸糸入も糸

△大糸糸乃糸糸糸
 △口は二枚五枚糸糸糸
 △糸切糸乃糸糸糸

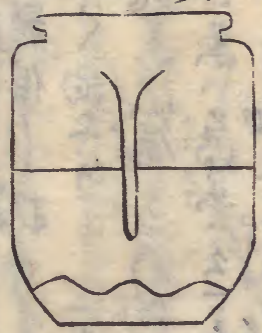
筋類



△下糸淡粉文乃階くく多る糸造
 糸あり△上糸は淡黄糸乃糸り
 糸糸流れあり

百七
 △口は二枚五枚 △糸切は常々
 △下糸淡粉文乃階くく多る糸造
 糸あり△上糸は淡黄糸乃糸り
 糸糸流れあり

口廣



口廣類

百七

茶入多し又興多し茶わし厚
 く流る拍あり自然茶をとり
 乃流れもろき掃あり
 △手摺小云依伝あり波紙乃付代
 布り代金茶三枚乃り此拍あり
 或は十両を收とり之口廣小似
 又他ぬ拍あり代百貫

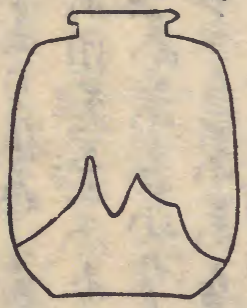
蟻碎
 △去白拍あり △口蓋摺あり
 茶立五両小云とあり
 と燈小志しず蟹乃時ハ似たり
 蟻碎手 三つくさささ因縁



△系切なるりあり
 △下茶摺茶を此茶ととりん
 △上茶より茶摺くろ茶摺
 外小なる拍あり
 △手摺小云賞取と百年茶茶
 表一肩小志茶茶あり此茶
 あり代金を收計也去白去也

破風子 是ハ氏茶入乃手曲と
 志く茶摺り後茶乃とく小
 乙破風口小似る拍あり云後
 △去白拍小云とあり

破風



茶入
 茶入

柴をかり添れも五糸切は倍
元禄と三百四十年

後大瓶ノリ 兼入乃カケ 外ハ ありく

多り乃カケ 肩カケ ありく

ハ何代ノ ありく

小ツク 入り大ツク あり

△大瓶ツク 兼入乃カケ 外ハ あり

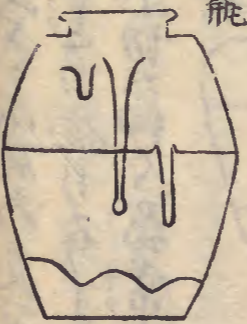
△口ツク 入り大ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり

外ハ 入り大ツク あり

曲ツク 入り大ツク あり

後大瓶



壺ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり

△手ツク 入り大ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり

△手ツク 入り大ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり

△手ツク 入り大ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり

△手ツク 入り大ツク あり

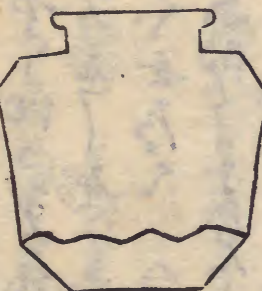
兼入乃カケ 外ハ あり

△手ツク 入り大ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり

△手ツク 入り大ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり



△去ツク 入り大ツク あり

壺ツク あり

兼入乃カケ 外ハ あり

中一美月小丸ゆれたえ未源
 出中細くあり物△口生
 橋り色く厚く紙志れた生橋
 小く無乃△系切の古紙
 故小形くうふんぬ物あり
 △下系橋橋多又為系系も
 あり地橋乃思く内系とあり
 △上系より系系ひくく一面
 △或流云肩先を付立球打
 面をかり但一面小肩衝
 せの値と半切と云たりかく
 乃とく乃他どなり小あぶか
 系合あうせんるにかこれ
 のはべト右乃地系流橋系
 黄末のし系系を西系
 四節の系乃系もさくさくあり

△腰系系入乃引盤中く海と
 あくくさる物あり
 △下系流橋多あり上流れを
 係一係系黄系入交く西小流
 系うくを物あり△或又地系
 橋橋乃系を小上系より系
 形とくわくも△又地系系
 目系小上より系系入交も
 又黄流れ乃系系入もわり金糸
 乃飛系もさくすま
 △身流小云とあり乃系系
 大飛れ古小紙せく焼く物
 百五
 龍母橋 是の尾列流戸の
 小くさくぬとありと云るあり
 系系小紙のく焼系入と云

和漢茶入
下
七十一

△大落黄之なり又落赤之の茶
入もわり △口まじり搦み
拾合より △丸糸切中
み丸より常乃糸切あり
こゝろたふ花素なり

祖母懐



△下茶の大弁片之茶葉之の
思之之茶扱あり 自然搦
乃之終に茶あれまればなり
△と茶之思始之茶乃飛毫
又或ハ茶葉黄茶むくくと
かたむとあり刷同分のみん
ゆり扱あり △茶入乃わりハ

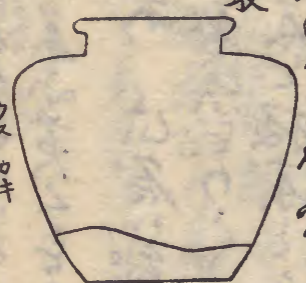
一よみハかざらんく

百六
面之面不瓦手 是ハ思始

くは思とつくり面と瓦手扱なり
右と同他別れ各別乃是也
爲手お作り細工く拾合尼
子ありを扱ふ代を速茶合

△出之糸切右回あり
△口まじり搦みハ右みかたり
球のわり常中より

面不取



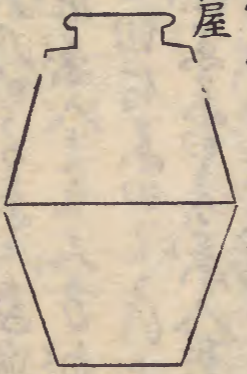
△下茶落扱あり上茶ハ
むくくと流之爲ふりて

下
七十三

和漢考
七十四

右の場子任せり茶のてのり
の茶葉小任す茶煙を焼又
ハ源十郎焼おどく云ハ茶葉と
ハ名茶葉小あつて茶葉よ
ありてハ
△地茶濃始茶に茶目去ハハ
もやハ又茶のりありもろ
利休時代乃焼手あり

茶自屋



百九
一思川手 追加 右百年小なる

茶葉小何ハ茶のり茶又
茶のり流れハ代金又
位ナリ去白

百九
一應面手 右目の中古

茶入應面手ハ茶のり物
金茶葉茶のり茶葉小流れ
ハナリ但ハ茶のり小似

百九
一撰屑手 濃紙手小茶座

ハ茶のり茶列云ハ茶のり
ハ茶のり茶列云ハ茶のり
ハ茶のり茶列云ハ茶のり
ハ茶のり茶列云ハ茶のり

百九
一打出手 右百年

茶列云ハ茶のり茶のり
ハ茶のり茶のり茶のり
ハ茶のり茶のり茶のり
ハ茶のり茶のり茶のり

和漢考
七十五

未済者

百廿三

百廿三 一 波子 右百七十八年

此系流折乃根光流れ

之代物百費より三百費と

百廿四 一 流子 右百四十年

物之着れ下みんり

云ふゆき流ありと云始

系あり系切るこれなり

代二百費三百費四百費

百廿五 一 八た鳥焼 腰より系あり

八た鳥焼

上系あり系並

保焼

並列時代

百廿六 一 大電物 右百二十年

大電物

利体時代

百廿七 一 山乃林 右百二十年

山乃林

利体時代

百廿八 一 柳川 右百二十年

柳川

利体時代

百廿九 一 八橋子 右百二十年

八橋子

利体時代

百三十 一 小ひらき 右百二十年

小ひらき

利体時代

百三十一 一 厚子 右百二十年

厚子

利体時代

百三十二 一 金花系 右百二十年

金花系

利体時代

百三十三 一 米丸 右百二十年

米丸

利体時代

和清系

一 四代後燒 一 儀屋電 一 糸市

肥後燒 百三 利休時代 利休時代

一 鬼四郎 百三 或曰辰四郎

三 四代後乃志と云此後分

のたより二代目と加藤の志

と云る伝略之を以て

之りかた乃と云く代々

西之子孫今小瀬戸乃里

小丸の字居上林乃物終

小丸四郎と云る伝小書

付あ書臺と云ると云り

百四十四 △ 糸切之流

一 丸糸切



此糸切上は約
小わり藤屋
目かどくに足
ゆりたり

一 糸切



是ハ右回り
瀬戸焼乃糸
切ハ左回り
小遣乃物なり

一 産物糸切

和清系



是乃た廻り也
唐物の子也
外乃糸入不
あはれあり

一 袋起底



は通りお揃
うら底と袋起
と色板部
云糸入乃下地
とまわり三引
部一乃とふ
扱く扱ふ子乃
とすはあつ物あり

一 渦糸切



か糸とく乃
通りおふく
ゆく渦糸切
物ありこれ大
飛ひ糸入のみ
曲引金あり
糸乃糸入ふこれ
乃志れさる糸入
これ糸切也

一 束去

圓ちと云い糸入乃底とまわり
はらひと云い又いふは底と
云うと云い通し底と細く揃ふと
云ひ

一 古書
一 下

△ 去之次あり

一 紫菜

産物あり

一 紫菜

赤い去と云るあり

あり

一 藻

産物あり

一 藻

産物あり

一 藻

白文と云

一 藻

去と云るあり

一 藻

是ハ産物

一 藻

去と云るあり

一 藻

去と云るあり

一 藻

去と云るあり

一 藻

去と云るあり

一 藻

去と云るあり

△ 藻之次あり

一 藻

産物あり

一 藻

去と云るあり

一 藻

右同新徳事

一 藻

産物あり

一 藻

右同新

一 藻

生海産物

一 藻

産物あり

一 藻

右同新

一 藻

生海産物

一 藻

産物あり

一 藻

小破乃きりと

一 藻

と云るあり

一 藻

ゆりなりと云るあり

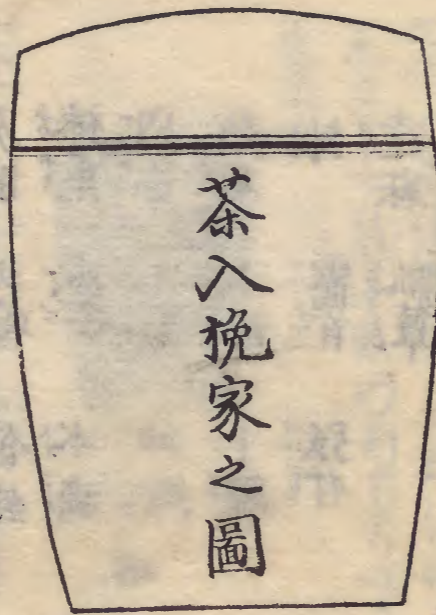
一 藻

産物あり

右同新

層合電 所乃居也 上他
 大莖電 所乃居也 上他
 偽海電 所乃居也 中他
 鱗電 下他物也
 太平電 下他物也
 仔勢電 仔勢塊 燒燬
 大電 小電乃燒燬也
 無類乃出來物あり未せり
 及ハ金銀等乃凡物あり皆
 小殿指電とつり
 右電所ハ薪乃沢山等所
 と乃ハハく入と燻とあり
 電所ありと曲引熱出
 系小ありハこれあり

百四十八
 △梳物茶入 并梳家之器



肩衝 カタツキ
 文琳 エリン
 蠟燭 ランク
 鯁鯨 アンカウ
 生海鼠 ナメコ
 廣沢 拾貫 耳附 ミツキ
 拳底 エソコ
 西施 サイシ
 胴縮 トウジツ
 角木 角木
 常陸帶 ヒタチノオビ
 百取 メントリ
 胴高 トウタカ
 笹耳 ササミミ
 車軸 車軸
 呂丁 ロウテイ
 餅籬 餅籬
 樽 樽

右之類如此挽家入
 口實ナシ
 口實ナシ

茶入挽家之圖

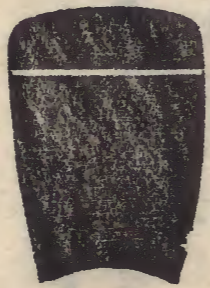
- 尻脹
- 文輪
- 飯銅
- 棒先
- 茄子
- 水滴
- 内海
- 丸壺
- 油燈
- 類座
- 大海
- 手縮
- 林
- 霧首
- 弦付
- 達麻
- 瓢箪
- 櫛

右之類如此挽家入

棗

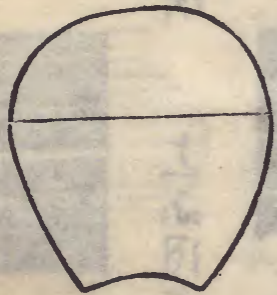
義政公伝長云 太閤

時代の府絵ふありの柳体化ハ
 是なり之庭ふ朱乃判ありの
 賞入



丸棗

根茶箱 通倉物
 何と巨袋入たり長統紐統



大中継

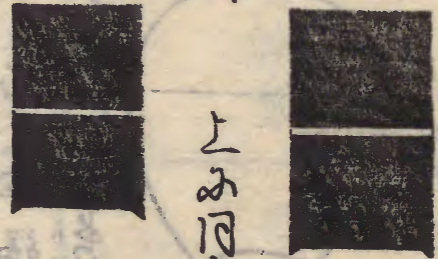
時代府絵賞

口書

多々は袋カ

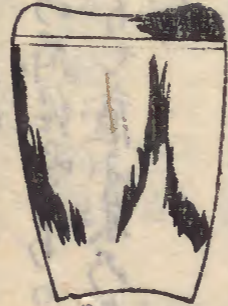
小中漬

上小口



頭切

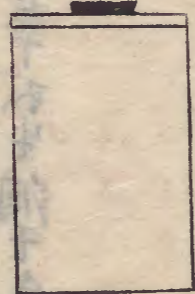
利休茶と云々
本内ぬり外木をさたり



寸切

織形と云々

仲小はさきゆり。又削り
金籠寸切と云あり橋の曲
物かり内目をさす小極ちり



茶箱

唐箱を種れよと云

其子たしむにかざりし又かくのど
る此形の堆朱堆紅乃れまき



薄茶入

南京深付多り

〇日葉カノ

下ノ十三カ

竹梅チクバイの絵あり又日本物
織物オリモノの類あり



元禄七甲戌年孟春吉辰

浪華なげはな平生なげはな洞干氏ほらつかのうぢ某輯録

和漢系入名物記終

庫	文	閣	内
二 〇 函		二 五 一 七 九	和 書
三 架	三 冊	號	類

				禾 書 門
一 三 冊	二 架	九 七 函	二 五 一 七 九 號	類